

平成 29 年度 全日制学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①工業教育の特色を活かし、社会で必要とされる専門性の向上を図る教育課程を提供する。 ②自ら課題を発見し解決する力の育成と主体的に学ぶ意欲の向上を図る。 ③学校行事や生徒会活動を通じ、自他の多様性を尊重させ、生徒の主体的な活動の促進を図る。	①生徒の実情にあった教育課程について、評価・検討を行う。 ①工業に必要な資格取得の合格率を上げる。 ②参加型授業の展開を図り、生徒の意欲の向上を目指す。 ②企業研究・課題研究・実習などで、主体的に学ぶ意欲の向上を図る ③生徒会行事の運営を通して、生徒の自立心を育成させる。	①工業科目における専門性の向上と、共通科目の充実を図る。 ①向ジュニアマイスターを設立し、意欲関心を高めると共に資格取得に向けての指導を行う。 ②授業改善に計画的・日常的に取り組み、教科を超えた研究授業・協議を通して、全教科で参加型授業の実施・展開をめざす。 ②出前授業などを行い、外部講師等の有効活用を図る。 ③各行事において、企画・準備段階から生徒が取組むように導く。	①教育課程の評価・検討ができたか。 ①資格取得合格者が昨年度の2割り程度上がったか。ジュニアマイスター申請者が増えたか。 ②生徒による授業評価の(7)学習努力、(8)意欲的な取り組みにおいて、75%の生徒が「あてはまる」と回答できたか。 ②出前授業後のアンケートにおいて、75%の生徒が「参考になった」と回答ができたか。 ③学校行事等において、生徒の自主的な活動がふえたか。
2	生徒指導・ 支援	①自己の成長を意識させ、社会人としての基礎力を身につけさせる。 ②部活動を通じて、責任感、協調性、自主性の涵養を図る。	①個々の生徒に応じた生徒指導・支援を外部機関等と連携をとりながら行う。 ②各部活動の活性化と自主的な活動を推進し、生徒の自立心を育成する。	①定期的な服装、頭髪及び遅刻指導を行う。 ②部活動において、練習メニュー等を生徒に考えさせるなど、自主性と協調性の育成を図る。	①定期的な生徒に対する指導ができたか。 ②部活動を通じて、生徒の自主性・協調性が向上したか。
3	進路指導・ 支援	生徒一人ひとりの進路実現に向けた進路指導の充実を図る。	①生徒個々の適性と希望に応じて進路アプローチの方法を柔軟に多角的視野で講じる。 ②生徒(家庭等)が納得した進路先決定100%を目指す。 ③外部と連携した進路情報の発信を推進する。	①希望状況調査を定期的実施する。 ①適性把握のための各種検査を実施する。 ①生徒と保護者の希望のすりあわせを、面談を通じて行い確実に把握する。 ②就業体験、キャンパス見学等外部機関への参加を積極的に案内する。 ②個々の進路希望実現の為の学部機関との更なる連携と開拓を進める。 ③放課後等を利用したキャリア説明会を開催する。	①検査、調査の定期的実施ができたか。 ①検査結果、調査結果を活用した一人ひとりに向き合ったアプローチができたか。 ①マッチング重視で生徒に寄り添う支援ができたか。 ②外部機関との連携が形として残る内容で進められたか。 ②外部機関の更なる開拓ができたか。 ③就職・進学に関する説明会を、外部と連携して行うことができたか。
4	地域等との 協働	「地域とともに育つ向工」を実現し、「地域で活躍する向工生」を育むために、地域社会との連携による教育活動を推進する。	①「地域とともに育つ向工」を実現するため、地域への広報活動を行う。 ②「地域で活躍する向工生」を育むために、他校種、企業との連携事業を推進する。	①各種イベントを活用した施設・設備の魅力や学校活動を、ホームページを活用して積極的に発信する。 ①生徒自ら各種イベントに参加・運営することで自ら考える力やコミュニケーション能力を育む。 ②他校種、企業との連携を通じた教育活動の推進を行う。	①学校での活動をホームページ等で積極的に発信することができたか。 ①各種イベント、学校活動に取組むことで昨年度よりも自ら考える力やコミュニケーション能力を育むことができたか。 ②各種イベント、地域の活動に生徒が協力できたか。
5	学校管理 学校運営	①校内の美化意識の向上と防災教育を推し進め、安全安心な教育環境を構築する。 ②すべての職員の資質向上を図るとともに、風通しの良い職場づくりをめざし、教職員の事故不祥事を未然に防止する。	①生徒が校内美化と安全、防災に対する意識を日常のあらゆる場面で持ちながら行動できるよう取り組む。 ②職員の資質向上に向け、職員の連携、不祥事の防止に取り組む。	①「整理、整頓、清潔、清掃、躰、安全」の6S運動を全校運動として展開し、安全、環境教育の推進を図る。 ①避難訓練等の防災教育により、全生徒全職員が防災に対する意識を高めるよう取り組む。 ②定期的に不祥事防止等の研修を行う。	①昨年度よりも「整理、整頓、清潔、清掃、躰、安全」が身につき実践されているか。 ①避難訓練や学校掲示板の利用で迅速な行動や安否確認等の連絡訓練が効果的に実施できたか。 ②全職員で事故不祥事ゼロを実現できたか。